

(注) 本リリースは、株式会社 QLife と日本イーライリリー株式会社の共同リリースです。両社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。



プレスリリース

2014年6月2日

報道関係各位

株式会社 QLife

日本イーライリリー株式会社

エコノミスト 森永卓郎さんがナビゲート QLife が「森永卓郎さんと考える『糖尿病治療の経済学』」を新規開設 ～日本イーライリリー提供で糖尿病治療に関する情報を発信～

600万人/月が利用する日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都千代田区、代表取締役:山内善行)は、患者さん向けに糖尿病に関するコンテンツを展開する特設ページを新たに開設し、日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン)が提供する“森永卓郎さんと考える『糖尿病治療の経済学』”の情報配信を開始しました(<http://tounyou.qlifeweb.jp>)。

QLife スペシャル編集企画

エコノミスト・森永卓郎さんと考える 糖尿病治療の経済学

継続的な治療が必要な糖尿病は治療費も大きなものに。
ご自身も糖尿病治療中の森永さんとともに「治療とお金」について考えませんか？

特集 「治療費」が治療の足かせになってはいけない

糖尿病の治療は継続的な血糖コントロールが重要です。でも、どうしても避けて通れないのが「お金」のこと。ご自身もインスリン治療を続けるエコノミスト・森永卓郎さんからの提案です。

この記事を読む >>

かんたんチェック
主治医の先生とのコミュニケーションをサポート

さっそく
相談シート

「糖尿病治療の経済学」は全3回シリーズです。第2回は6月更新予定です。

利用規約 個人情報保護方針 会社概要 お問い合わせ sponsored by 日本イーライリリー株式会社

糖尿病は日本の人口の約 6 分の 1 が患者さん、またはその予備軍であると言われるほど、深刻な病気です。インスリン治療中の患者さんにおける医療費負担は重く、約 8 割(78%)の患者さんが、通院をやめる一番の理由として「治療費の負担が重い」ことを挙げています。^{*1}

^{*1} 日本イーライリリー委託による糖尿病ネットワーク調査、「インスリン療法と医療費に関するアンケート」
調査対象: 1 型糖尿病、2 型糖尿病、妊娠糖尿病などでインスリン療法を行っている 20 歳以上の患者さん、
有効回答数: 2650 名、調査手法: インターネット調査、調査時期: 2013 年 3 月 1 日～3 月 18 日

本サイトでは、自身も糖尿病を患っているエコノミストの森永卓郎さんをナビゲーターに迎え、糖尿病患者さん向けに、経済的な視点から糖尿病治療に関する情報を提供します。治療費に関する森永さんへのインタビューなどを掲載しています。

ウェブサイト概要

- サイト名： 「糖尿病治療の経済学」
- URL： <http://tounyou.qlifeweb.jp/>
- 実施期間： 2014年12月まで
- 提供： 日本イーライリリー
- コンテンツ： 森永さんインタビュー：「治療費」が治療の足かせになってはならないほか全3回シリーズ。第2回目は6月更新予定

本プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社 QLife

広報担当：田中

Tel. 03-3500-3235

Mail: info@qlife.co.jp

日本イーライリリー 広報代理店

エム・エム・エス・コミュニケーションズ株式会社

MSLGROUP in Japan 担当：工藤、高田

Tel: 03-5719-8901 Fax: 03-5719-8919

日本イーライリリー株式会社

広報・CSR部 白井 未佳

携帯. 080-8506-1346 Mail: shirai_mika@lilly.com

〈このプレスリリースは、厚生労働記者会ならびに厚生日比谷、神戸経済記者クラブへ配布しております〉